

数年に一度の寒波の影響で、三重県内でもかなりの積雪になった地域がありました。不慣れな雪道や地面の凍結、停電したところもあったとか。何気ないふだんの生活が一変しますね。立春を過ぎて春近し。梅が咲いているのを見かけました（^^）

■ビデオライブラリー新作、入荷しました！

【アニメ】

- ・それいけ！アンパンマン ・ちびまる子ちゃん
- ・妖怪ウォッチ ・名探偵コナン

【映画】

- ・魔女の宅急便 ・プリキュアオールスターズ
- ・スーパーヒーロー大戦GP 仮面ライダー3号

【ドラマ】

- ・花咲舞が黙ってない（シリーズ）

【社会問題】

- ・ひとりで悩まないで -DVのない社会を目指して-

【聴覚障害】

- ・ろうを生きる難聴を生きる（12番組）
- 『筆談が変わる』
- 『絆を取り戻したい ～被災地のろう学校 100周年の同窓会～』
- 『どう育む？日本語力 ～文の仕組みを知る～』
- 『どう育む？日本語力 ～表現力を高める～』
- 『安心を届けたい ～音を知らせる腕時計～』
- 『共に生きやすい社会を～言葉の壁を越える～』
- 『共に生きやすい社会を～理想の職場を創る～』
- 『「働く」を見に行こう！ 看護師を目指す学生×中途失聴の医師』
- 『マジックで人生を切り開け デフマジシャン NOBU』
- 『私は負けない ～修行中！難聴の芸妓～』
- 『この仕事にかける ～難聴の宮大工・渡辺健太～ 前編・後編』

今回入荷した作品は、子どもから大人まで幅広く楽しめる内容をと、アニメ・映画・ドラマ・社会問題・聴覚障害など、多様にそろえました。そして『ろうを生きる難聴を生きる』の作品の一つに、難聴の宮大工・渡辺健太さんが取り上げられています。実は渡辺さん、三重在住の方なんです！

また、今回の入荷作品の中には、なんと『全文字幕』と『要約字幕』の複数字幕が用意されている作品もあるのです。これで、「何を話しているか全部知りたいっ！」って方も大丈夫ですよ～。「複数字幕って何？」と思われる方、ぜひ一度は観てください。

大切なお知らせがあります。当センターでは、今年度をもってVHSビデオ作品の貸出を終了いたします。当センター所蔵ライブラリーのうち、VHSビデオ作品はここ数年の貸出数が年間1本またはゼロのときがあります。VHSビデオデッキを持っておられるご家庭がほとんどなくなっているのかもしれない。どうぞご了承のほどをお願いいたします。

引き続きDVD作品を充実していきますのでお楽しみに！

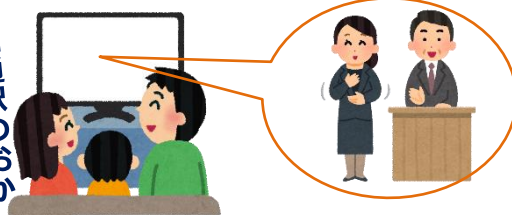
■知事定例記者会見に手話通訳が導入される！

三重県手話言語条例（昨年6月に成立）の4月からの施行を控え、手話施策推進計画策定に向けて検討が重ねられています。その計画案では、「聴覚障害者が県政情報を円滑に取得できるよう、手話による情報の発信に努める」ことを基本的な考え方の一つとしています。

その取組の第一歩として、この度、三重県では聴覚障害者が県政情報を手話によって得られるよう、中部地方の県としては初めて知事定例記者会見に手話通訳を導入することになりました！

なお、知事定例記者会見への手話通訳導入は、鳥取県と山形県に次いで3県目となるそうです。開始時期や配信方法は右の案内をごらんください。

手話通訳のおかげで内容が分かる



▶開始時期：平成29年2月7日（火）より

▶実施方法：

- ・知事の横に手話通訳士が立ち、2名が交代で同時通訳
- ・発表事項と質疑応答の全てを通訳
- ・会見当日に県ホームページで（三重県インターネット放送局）でライブ配信
- ・会見2日後に県ホームページ及びYouTube（チャンネル三重）で録画配信

三重県聴覚障害者支援センター

三重 聴覚



〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目131 三重県社会福祉会館5階 FAX (059) 223-3301 / TEL (059) 223-3302

http://www.deaf-mie-center.com/ e-mail : deaf.mie-center@vivid.ocn.ne.jp

利用時間 午前8時30分～午後5時 □休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始

字幕映像ライブラリー NEWS

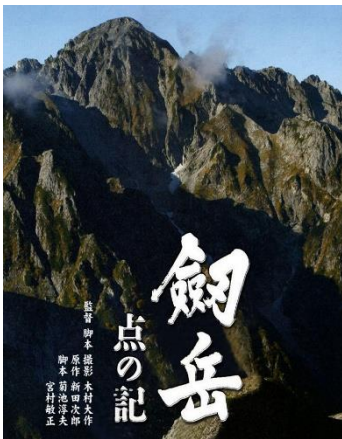
登山や山歩きを楽しまれる方々にとって、そろそろ春を告げる花と萌える若葉が美しい、春の山を楽しめる季節が到来します。でも、難攻不落の山に魅せられて、アルプスなど名山を目指すクライマーの世界もありますよね。今回はその世界を紹介です。

なお、「借りたいけど、なかなかセンターに行くヒマがない～」とお嘆きのアナタ、大丈夫です。郵送で貸出や返却ができるんです。詳しくは当センターホームページで！



■字幕映像ライブラリー 今回のイチオシ作品 はこれです！

『劔岳 点の記』



地図を作るときに基準となる場所に埋められた標石を三角点と言う。三角点の距離・方位・高さを測量することで、正確な地図を作ることができる。現在、その数は約11万箇所にあがっているが、それらは全て、ただ地図を作るためだけに命をかけた測量士が、先頭に立って道を開くことでなされた。

明治40年、日本地図完成のために軍部から命じられ、立山連峰や末踏峰であった劔岳への登頂に挑む、陸軍測量手の柴崎芳太郎ら7人の測量隊。

山の案内人、宇治長次郎や助手の生田信らと頂への登り口を探す、生田が足を滑らせけがを負ってしまう。大自然の厳しさを見せつけられた測量隊だったが、柴崎と宇治はある言葉を思い出し……。

■センター登録団体等の行事のお知らせです！（手話通訳や要約筆記付き）

■みみの日記念第3回手話フェスティバル

日時：平成29年3月5日（日）10時から16時
※受付9時30分～

場所：ハートフルみくも（松阪市曾原町2678）

内容：**午前** 「ミュージカル公演」劇団ミュージカル BeOneLab.
「アメリカ大陸横断体験発表」三聴障協会員
午後 「記念公演 1人芝居『藤本敏文の生涯』」
那須英彰氏（俳優、NHK手話キャスター）

整理券：一般2,000円
学生・高齢（60歳以上）1,500円

情報保障：手話通訳、要約筆記

主催：一般社団法人三重県聴覚障害者協会

主管：松阪市ろうあ福祉協会

後援：三重県、松阪市、中日新聞社、社会福祉法人三重県社会福祉協議会、公益社団法人三重県障害者団体連合会、社会福祉法人松阪市社会福祉協議会

協力：三重県手話通訳問題研究会、三重県手話サークル連絡協議会、NPO法人全国要約筆記問題研究会中部ブロック三重県支部、三重県要約筆記サークル連絡協議会、三重県難聴・中途失聴者協会、松阪市手話サークル連絡会

問合せ先：一般社団法人三重県聴覚障害者協会・実行委員会事務局

FAX：059-223-4330 E-mail：deaf.mie@viola.ocn.ne.jp

